

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年4月3日 (2014.4.3)

【公表番号】特表2013-519688(P2013-519688A)

【公表日】平成25年5月30日 (2013.5.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-027

【出願番号】特願2012-553073(P2012-553073)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/522 (2006.01)

A 6 1 K 33/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 K 33/42 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 33/16 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/24 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/522

A 6 1 K 33/06

A 6 1 P 1/02

A 6 1 K 33/42

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/08

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 33/16

A 6 1 K 8/49

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/24

A 6 1 Q 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月10日 (2014.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A) 0.006 mM から 2.78 mM の単離したテオブロミン、またはその塩もしくは複塩；

- B) カルシウムの少なくとも1つの供給源；
C) リン酸塩の少なくとも1つの供給源；および
D) 5から10までのpHを含む歯予防および再石灰化組成物。

【請求項2】

カルシウムの前記少なくとも1つの供給源が、塩化カルシウム、炭酸カルシウム、グルコン酸カルシウム、リン酸カルシウム、およびその組み合わせからなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

リン酸塩の前記少なくとも1つの供給源が、リン酸二水素カリウム、リン酸水素二カリウム、リン酸三カリウム、リン酸二水素ナトリウム、リン酸水素二ナトリウム、リン酸三ナトリウム、およびその組み合わせからなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

キシリトール、ソルビトール、マンニトール、マルチトール、ラクチトール、イソマルト、エリトリトール、アラビトール、グリセリン、およびその組み合わせからなる群から選択される少なくとも1種の等張剤をさらに含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

メチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、エチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、およびその組み合わせからなる群から選択される少なくとも1種の増粘剤をさらに含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

トリクロサン、過酸化水素、メチル-4-ヒドロキシベンゾアート、丁子油、およびその組み合わせからなる群から選択される抗菌剤、抗生剤、またはその組み合わせをさらに含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

単離したテオブロミン、テオブロミン塩、多形、またはテオブロミン複塩、カルシウムの少なくとも1つの供給源、およびリン酸塩の少なくとも1つの供給源を含み、pHが約5から約10までである哺乳動物において必要な歯治療用組成物の使用。

【請求項8】

単離したテオブロミン、テオブロミン塩、多形またはテオブロミン複塩、カルシウムの少なくとも1つの供給源、およびリン酸塩の少なくとも1つの供給源を含み、pHが約5から約10までである、少なくとも1つの歯の圧入硬度を増強するための組成物の使用。

【請求項9】

カルシウムの前記少なくとも1つの供給源が、塩化カルシウム、炭酸カルシウム、グルコン酸カルシウム、リン酸カルシウム、およびその組み合わせからなる群から選択される、請求項7または8に記載の使用。

【請求項10】

リン酸塩の前記少なくとも1つの供給源が、リン酸二水素カリウム、リン酸水素二カリウム、リン酸三カリウム、リン酸二水素ナトリウム、リン酸水素二ナトリウム、リン酸三ナトリウム、およびその組み合わせからなる群から選択される、請求項7または8に記載の使用。

【請求項11】

キシリトール、ソルビトール、マンニトール、マルチトール、ラクチトール、イソマルト、エリトリトール、アラビトール、グリセリン、およびその組み合わせからなる群から選択される少なくとも1種の等張剤をさらに含む、請求項7または8に記載の使用。

【請求項12】

メチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、エチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、およびその組み合わせからなる群から選択される前記少なくとも1種の増粘剤をさらに含む、請求項7または8に記載の使用。

【請求項13】

トリクロサン、過酸化水素、メチル - 4 - ヒドロキシベンゾアート、丁子油、およびその組み合わせからなる群から選択される前記少なくとも 1 種の抗菌剤をさらに含む、請求項 7 または 8 に記載の使用。

【請求項 14】

0 % から約 1 . 1 % のフッ素ナトリウムまたは 0 % から約 0 . 7 6 % のモノフルオロリン酸ナトリウムを含有する歯磨き剤よりも、少なくとも 1 つの歯の前記硬度を増強することにより、歯を治療する組成物に係る請求項 7、または 0 % から約 1 . 1 % のフッ素ナトリウムまたはモノフルオロリン酸ナトリウムのどちらかを含有する歯磨き剤より、少なくとも 1 つの歯の前記硬度を増強する前記組成物に係る請求項 8 の使用。

【請求項 15】

0 . 0 0 6 m M から 2 . 7 8 m M の単離したテオプロミン、または塩またはそれらの複塩を含む前記組成物であって、かつ前記増強はさらに新しいヒドロキシルアパタイトおよび / またはリン酸カルシウムの前記歯への堆積をさらに含む、請求項 8 に記載の使用。